

令和4年度

学校自己評価報告書

学校法人松樹学園

信州介護福祉専門学校自己評価委員会

令和4年度 自己評価結果

教育方針

介護福祉士として必要な知識、技術を教授するとともに、人間尊重の精神と共感的態度の学びを通じて心豊かな人間性を育て、地域社会に貢献できる専門的福祉人材を養成するため、以下の教育目標を掲げその実現をめざします。

教育目標

- 1 学生一人ひとりの特性を生かすとともに能力に応じた学びができる場を提供し、地域や福祉現場が求める介護福祉士の養成に努めます。
- 2 生活者としての「人間」を理解する能力を育成するとともに、「尊厳」の保持と「その人らしく」暮らせる支援が重要であることの学びを通じて、他者に共感できる心豊かな人間性を涵養します。
- 3 あらゆる介護場面に共通する基礎的な知識、技術を習得させるとともに、介護実習の体験を通じ、科学的理論に基づいた実践力と個別性への応用力を養います。
- 4 地域行事やボランティア等に参加する中で「福祉の心」を育み、地域社会に貢献できる人材を養成します。
- 5 他者を敬い思いやる気持ちを形に表す「接遇」の重要性を理解し、実践できる能力を養います。
- 6 時代が求める専門的かつ総合的な介護の知識・技術を持つ介護福祉士としての国家資格の習得を目指し、人間的にも社会的にも認められる人材を養成します。

実施職員 7人

評価基準	4	良く取り組んでいる
	3	まあまあ取り組んでいる
	2	あまり取り組めていない
	1	まったく取り組めていない

※（ ）内は昨年度評価数値

① 教育理念・目標・育成人材像等			評価	平均
評価項目	1	理念・目標・育成人材像は定められているか	3.14	2.95 (3.39)
	2	特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.00	
	3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2.71	
自己評価結果及び分析 <ul style="list-style-type: none"> ・理念、目標、育成人材像については、3つのポリシーも含めて、学校説明会やパンフレット、ホームページでも公開している。 ・知識と技術、そして心の3つを基本とする教育活動を行い育成目標としている。 ・理念、目標は定められているが、教職員一同での定期的な意識確認が行えていない。 				
取り組み・改善方法等 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に教職員全員で教育目標を共有して、役割の細分化を行い、それぞれの役割分担の進捗や適切性を確認する。 ・社会が求める地域共生や地域包括ケアの考えを、学校の将来構想に含めた教育活動に繋げる必要がある。 				

			評価	平均
評価項目	4	運営方針は定められているか	3.29	3.09 (3.20)
	5	事業計画は定められているか	3.29	
	6	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、有効に機能しているか	3.00	
	7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3.00	
	8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.86	

自己評価結果及び分析

- ・運営方針、事業計画など基本的な計画は定められている。
- ・意思決定機能について、稟議書や申請書は規則に基づいて決裁されている。

取り組み・改善方法等

- ・決裁等の手順について、業務改善を含めて効率化をはかる。
- ・情報のシステム化は進んでいるが、その蓄積された膨大な情報を整理する必要がある。
- ・老朽化に伴う情報機器の入れ替え。

			評価	平均
評価項目	9	教育目標、育成人材像は、求められる資格及び福祉・医療現場の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3.14	3.00 (3.37)
	10	教育機関としての就業年限に応じた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.00	
	11	カリキュラムは体系的に編成されているか	3.00	
	12	教育課程に関する業界・関係施設等の外部の意見を反映しているか	2.57	
	13	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.43	
	14	教育目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.00	
	15	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.43	
	16	資格取得の指導体制はあるか	2.86	
	17	教職員の専門的知識・技能等を修得・向上のための組織的な取り組みは行われているか	2.57	

自己評価結果及び分析

- ・教育活動全般について、新カリキュラムへの対応、新型コロナウイルスを加味した実習計画など必要とされる対応は良好にできている。
- ・授業アンケートや保護者・学生からのアンケートは概ね好評価を得ている。

取り組み・改善方法等

- ・学生数増加に伴い、限られた時間内でのより効果的、効率的な対応や関わり方を検討する必要がある。
- ・外部から得られた評価や意見を教職員会議等で共有し、具体的に改善できるよう検討する。
- ・教職員のさらなる知識や技術向上のため、外部の研修会などを今以上に利用し参加を促す必要がある。

			評価	平均
評価項目	18	就職率の向上が図られているか	3.57	3.00 (2.87)
	19	資格取得率の向上が図られているか	3.29	
	20	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.14	

自己評価結果及び分析

- ・1年次から見学活動、書類の作成方法などを学びながら早期の内定へと繋がっている。
- ・就職率は100%である。
- ・介護福祉士会などからの特別講座を開催し授業を補完すべき学習支援を行っている。

取り組み・改善方法等

- ・卒業生に対してのアプローチが少ないため、卒業生との交流の機会を検討する。
- ・卒業生に行事への共同参画を促す。

			評価	平均
評価項目	21	就職・進学指導に関する体制が整備され、有効に機能しているか	3.29	2.83 (3.90)
	22	退学率の低減が図られているか	3.14	
	23	学生相談に関する体制が整備され、有効に機能しているか	2.57	
	24	学生の経済的側面への支援が全体的に整備され有効に機能しているか	3.71	
	25	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	3.57	
	26	課外活動に対する支援体制が整備され、有効に機能しているか	2.00	
	27	学生の生活環境への支援は行われているか	2.57	
	28	保護者と適切に連携しているか	3.14	
	29	卒業生への支援体制はあるか	1.43	

自己評価結果及び分析

- ・定期的な学生との面談により、教育活動だけでなく生活上の課題も共有することに努めている。
- ・退学者は0である。
- ・課題のある学生に対しては、学生本人だけではなく保護者にも情報共有を行い、課題解決のための面談を適時行っている。
- ・健康チェックカードなどを活用し健康管理に努めている。
- ・感染対策の一環としてワクチン接種のサポートを行っている。
- ・高等教育修学支援新制度、奨学金など積極的に取り組んでいる。

取り組み・改善方法等

- ・学生からの相談は担当が主に受けており、幅広く教職員全員で共有・対応する必要がある。
- ・メンタル支援などの学生相談に対する体制は整備されているが相談を躊躇する学生もおり、よりプライバシーを重視した対応がはかれるよう検討する。
- ・学生数増加に伴い課外活動を学生とともに相談・企画していく。
- ・遠隔地から通学する学生に対して、アパート探しの支援など学校としても取り組んでいく。
- ・卒業生に対してのアプローチが少なく、卒業生との交流の機会を検討する。

			評価	平均
評価項目	30	施設・設備は、教育上の必要性に対応できるよう整備されているか	3.00	3.19 (3.22)
	31	施設実習等について十分な教育体制を整備しているか	3.00	
	32	防災に対する体制は整備されているか	3.57	

自己評価結果及び分析

- ・必要とされる定期点検等は実施できている。
- ・年2回の総合防災訓練は外部専門家も参加し実施できている。
- ・学生が利用する図書システムに問題がある。

取り組み・改善方法等

- ・老朽化した機器の計画的な入れ替えのための予算確保を行う必要がある。
- ・図書システムの入替え。

			評価	平均
評価項目	33	学生募集活動は、適正に行われているか	3.71	3.46 (3.67)
	34	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.43	
	35	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3.14	
	36	学納金は妥当なものとなっているか	3.57	
自己評価及び分析 <ul style="list-style-type: none"> ・受験者数は増加傾向にあり成果がでている。 ・高校訪問等の広報担当者を決め、積極的に取り組んでいる。 ・学納金や奨学金による学生支援は妥当であり、学生募集活動の一助となっている。 				
取り組み・改善方法等 <ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動を継続して取り組んでいく。 				

			評価	平均
評価項目	37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.71	3.18 (3.46)
	38	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.71	
	39	財務について会計監査が適正に行われているか	3.57	
	40	財務情報公開の体制整備はできているか	3.71	
自己評価及び分析 <ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動を積極的に行い財務基盤は昨年より安定している。 ・財務情報を適切に情報公開している。 ・予算は有効に執行されており、収支計画に概ね順調に沿って運営されている。 				
取り組み・改善方法等 <ul style="list-style-type: none"> ・学生数の増加に伴い、予算以上に支出のある項目について来年度の予算に反映させる。 ・継続して適正な収支に取り組んでいく。 				

			評価	平均
評価項目	41	法令、設置基準等を遵守し適正な運営がなされているか	2.57	3.06 (3.40)
	42	学則は適正かつ実情に即したものとなっているか	2.86	
	43	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.14	
	44	自己評価を実施し問題点の課題解決に努めているか	2.86	
	45	自己評価結果を公開しているか	3.86	
自己評価及び分析 <ul style="list-style-type: none"> ・遵守事項は各教職員守られている。 ・職員遵守事項の読み合わせがなされていない。 ・学則に準じて適正に機能している。 ・情報公開は適切に行われている。 				
取り組み・改善方法等 <ul style="list-style-type: none"> ・職員遵守事項の読み合わせが近年なされていないため再度読み合わせを行う。 ・現代の実情に合わせて学則や規程の一部直しが必要である。 ・学則や規程を教職員が常に見やすい場所に設置する。 ・自己評価を実施しているが、翌年度により反映できるよう話し合いの機会を増やす。 				

		評価	平均	
評価項目	46	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。	2.43	2.29 (3.15)
	47	学生のボランティア活動を奨励し、支援しているか。	2.14	
自己評価及び分析 ・ 地域貢献活動の一環として、地元商店街の学外清掃活動を定期的に行っている。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響によりボランティア活動などは現在推奨していない。				
取り組み・改善方法等 ・ 感染症の収束を望みつつボランティア活動など順次再開していきたい。				

		評価	平均	
評価項目	48	学生から意見、要望を聞く体制が整備されているか	3.14	2.89 (3.21)
	49	保護者から意見、要望を聞く体制が整備されているか	3.00	
	50	地域住民等第三者から意見、要望を聞く体制が整備されているか	3.14	
	51	学生等からの意見、要望を学校運営に反映させる体制が整備されているか	2.29	
自己評価及び分析 ・ 学生や保護者に対してアンケートを実施することにより、要望を聞く体制は整備されている。				
取り組み・改善方法等 ・ 実施したアンケートから意見、要望を教職員全員が理解し反映できるための体制づくりを検討する。				